

学校だより 北 陵

川西市立北陵小学校
校長 齋木久雄

盛夏の候、保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。皆様方のお陰を持ちまして、本日、無事に平成29年度1学期の終業式を終えることができました。

いよいよ明日から42日間の長い夏休みがスタートしますが、子ども達にとって有意義な夏休みになることを願っています。

以下に、本日の終業式での校長講話の概略を紹介します。

いよいよ明日から、皆さんが待ちに待った42日間の長い夏休みがスタートしますが、この一学期を振り返ると、本当に色々な出来事がありました。先生は、今年の4月にこの北陵小学校に来て、明るく素直で、ルール・マナーが守れる北陵小学校の皆さんの姿に感心しましたが、この1学期は、全てにおいて昨年度よりも更に一段と良くなっているように感じます。特に上級生が下級生の良いお手本となって頑張ってくれている姿には、感心を通り越して感動を覚える事が度々ありました。

特に皆さんの素晴らしい所は、先生に叱られるからルール・マナーを守るのではなく、ルール・マナーを守る事が「当たり前」になっていることだと思います。先生が怖いから・叱られるのが嫌だから仕方なくルール・マナーを守っているのであれば、先生が居ない時や怖くない先生の前では、ルール・マナーを守らなくてもよいとなりますが、皆さんは違いますね。ルール・マナーを守る事は、とても素晴らしい事です。その素晴らしい事が「当たり前」になっている事こそが、皆さんの素晴らしさだと先生は思います。

さて、前置きが長くなりましたが、今日は、皆さんに「将来の可能性」についてお話をします。

皆さんの将来には、何千通りもの可能性があります。

将来、博士になる、宇宙飛行士になる、オリンピック選手になる、プロの野球やサッカーの選手になる、音楽家になる、芸能人になる等、とても素晴らしいプラスの可能性を持っています。しかし、反対に社会に迷惑を掛ける悪い人になってしまう等のマイナスの可能性もあります。

では、プラスの可能性とマイナスの可能性の違いは何なのでしょう・・・？
プラスの可能性につながるの、「よし頑張るぞ」というやる気（心のスイッチ）が入るかどうかだと思います。勉強でもスポーツで何でも、親や先生・コーチから強制されて頑張っても、その頑張りは長続きしません。博士になった人も、オリンピック選手になった人も、みんな「よし頑張るぞ」というやる気（心のスイッチ）が入って頑張った人だと思います。

逆にマイナスの可能性につながるの何でしょうか？それは、「悪い事」をすること、そして、自分がした「悪い事」を正直に認めて反省するのではなく、嘘をついてごまかすことだと先生は思います。

この前の全校朝会で「白い靴」の話をしました。もう一度確認します。

新しい真っ白な靴を履いて、最初から平気で泥水の中を歩く人はいないと思います。最初はみんな、その靴を汚さないように気をつけて歩きます。そして、その真っ白い靴に汚れが付いてしまった時にどうするかが問題です。汚れが付いてしまった時に、すぐに汚れを洗い落とせば、白い靴はいつまでも綺麗なままで、大切に履き続けることができますと思いますが、もし、少しずつ汚れが付き始めても、その汚れを落とさずにそのまま靴を履き続けているとどうなるのでしょうか？次第に汚れが付いても気にならなくなって、最終的には平気で泥水の中を歩くようになってしまうと思います。

人間の心も、最初は「白い靴」と同じでみんな「真っ白」です。そして、その「真っ白」な心を汚すのが「悪い事」をすることだと思えます。しかし、人間は神様ではありませんから、程度の差はありますが、時には「悪い事」をしてしまうこともあると思えます。当然「悪い事」をしたらダメで、しないほうが良いのですが、大切なのは、もし「悪い事」をしてしまったら、嘘をついてごまかすのではなく、正直に自分の過ちを認めて反省する事だと思えます。そうすることで、心に付いた汚れを綺麗に落とすことができると思えます。

さて、皆さんは将来、何になりたいですか？皆さんには、これからの努力次第で、何にでもなれる可能性があります。そして、皆さんは今、全員が「真っ白」な心を持っています。その「真っ白」な心をいつまでも持ち続けて、自分のプラスの可能性を大きく開花させてくれることを願っています。

最後になりましたが、皆さんがこの夏休みを楽しく安全に過ごして、9月1日の始業式に、全員元気に登校してくれることを願っています。

<保護者の皆様へのお願い>

夏休みの期間は、基本的には学校教育から離れて、家族の一員として、家族の絆を深めることを最大の目標にしています。そして、家族からの温かい励ましや支援が、子どもの豊かな心を育みます。この夏休みの期間に、次のような配慮をして頂ければと思います。

- 子どもは、日々成長しています。お子様と話をするときは、お子様を正視して話をしてください。そして、まずお子様を認め肯定してください。また、話し合いでは、親子といえども、まず相手の言うことをきちんと聞き、途中でさえぎらないことが原則です。そして、親もその時の気持ち（思い）をきちんと伝えることです。
- 学習については、決まった時間になれば机に向かう、学習習慣の確立を目指して下さい。そして、懇談での担任からの話や「あゆみ」の所見等を参考にして、苦手な教科の克服を図って下さい。大切なことは、諦めさせるような言動を親がしないことです。
- 家庭でのお手伝いは、親からきちんと「〇〇をしてくれるとありがたい」と伝えることです。そして、子の言い分も聞いて下さい。

この夏休みは、いつもと少し違った視点でお子様の長所を発見する42日間にして頂ければ幸いです。

「子は、親の言う通りにはならないが、
親のする通りにはなる。」